

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）11月8日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19034
部門分類：140（飼料作物）
発信者名：小椋、河村

稲 WCS の収穫が最盛期です

当課では、今年度、稲 WCS の品質向上を目的とする普及活動に取り組んでいます。甲賀管内において、今年度は WCS 向けの飼料用稲が約 33ha 作付けされており、その収穫が最盛期を迎えています。

稲 WCS は、専用収穫機で稲の穂と茎葉を刈り取ると同時に細かく切断しながらロール状に形成しラップフィルムで包み、サイレージ（乳酸発酵させて貯蔵）に加工した牛の飼料です。

甲賀管内では、これまで晩生の専用品種である「たちすずか」を中心に栽培してきました。しかし、品種の偏重により刈り遅れが生じ、品質の低下が見られていたことから、作期分散を目的として、中生品種の「たちあやか」の栽培に試験的に取り組みました。今作の「たちあやか」は、適期である 9 月下旬頃に収穫でき目標収量は達成できたものの、生育途中で生育量が大きく落ちる等、いくつか課題が見つかりました。また、栽培農家からは、「黄熟期を迎えてから短期間で焼けてしまい、収穫適期期間が短いのでは？」という声が聞かれました。

当課では、来年度に向けて今作で生じた課題を整理し改善策を検討し、引き続き稲 WCS の品質向上に向けた支援を行っていきます。



専用収穫機での収穫作業



ラッピングされた 1 個約 350kg のロールがほ場に並びます